



## 人脈は成功の条件の基である

同窓会長 永見憲吾



同窓生の皆さん、お元氣でしょうか。

4月26日の同窓会総会は、母校広島工大で行い、鶴総長学長先生をはじめ、多数の先生方の参加を得、楽しい一時を持つことができました。

本年は同窓会の活性化と組織づくりをより前進させるため、まず足元である地元から進めてまいりたいと思います。

本年1月には安佐南区の同窓生と懇談し、この5月には安佐北区で行ってまいりました。特に安佐北区では100名近くの同窓生が参加下さり、楽しい懇談のひとつときをもつことができました。これから広島市を中心に色々な形で会合を持ってまいりたいと願っておりますので、その際には是非、多数の方が参加下さり共に情報交換をいたしましう。

さて、同窓会の組織作り当たり、友人、知人、人脈を多く持つことは人生の成功の条件の中で大きな位置にあることを箇条書きに示しながら日常の心構えも再認識したいと思います。

### 人生の成功の条件

(①目的を持ち学び続けること) × (②厚遇サービス精神を持つこと) × (③多くの知人、友人、人脈を持つこと) × (④普段の心構え)

※ これはかけ算ですから、ひとつでも0があると全てが0になります。

#### ①目的を持ち学び続けること

人間は第一に、目標を持たなければ勉強や努力をしないということです。目標を持って、それに到達する迄の計画を作り、それを絵にしたり、グラフにしたりしてその書いたものを壁に貼り、それを毎日読むことによって、自分の潜在能力に訴えること。そして毎日実行すべきことも書き、常に学ぶ姿勢を持つこと。

#### ②厚遇サービスの精神 (ホスピタリティー)

営業やサービス業をしている人は特にそうですが、自分の家族や親しい人に対してもこの精神が必要だと思います。すなわち、年中無休24時間体制でいつでも協力する気持ち、又、相手が何に困り、何を望んでいるかいち早く知り、それ

を早く解決するように努力すること。そうすれば相手から感謝され、尊敬されます。

#### ③多くの知人、友人、人脈を持つこと

世間を広く渡することは多くの知恵や色々な面で協力を得ることが出来ます。そして、次にその人名をリストに記入すること。それから3つのマメを行いましょう。(イ) ロマメ (電話)、(ロ) 手マメ (手紙)、(ハ) 足マメ (訪問)

#### ④普段の心掛け

(イ) 早寝、早起き、(ロ) 健康のため何か毎日実行しましょう。(例えば、毎日7千~1万歩歩くこと)、(ハ) 挨拶をはっきり言いましょう。(挨拶は人と人との心をつなぐ黄金の言葉である)、(ニ) ハイという返事をはっきり言いましょう。(ホ) 整理、整頓、後始末をちゃんとしましょう。IBMでは6S運動というのをしています。(整理、整頓、清潔、清掃、しつけ、始末)、(ヘ) 笑顔をとやさないように。あるアメリカ人が言いました。世界中でもし、ソ連人と日本人がいなければ、この世界は何と明るくなることでしょう。日本人もソ連人も暗すぎることです。ところがなかなか笑顔は出てきません。そこで陽転思考の方法として(現在与えられている仕事に対して先ず一生懸命働く→まわりが応援する→余裕が出来る→笑顔が出る)ということになります。

#### そこで積極的に生きる為に

- 仕事は最高の教師である→仕事は全て学習訓練です。
- 人間関係を苦しむ時は→まず相手に注意を向けよう。
- 自信をなくし失意を経験しよう(悩みを利用して自分を創ろう)→苦境の時こそプラス思考を。
- 本当に人の行く裏に道あり→独自の道を拓く。
- 回り道をした人は絶対に強い→受験の失敗、事業の行き詰まりを経験したものは強い。
- 自立、自助の生活を目指す。

以上、成功の条件は、ある意味では単純ですが、実行することは大変なことです。しかし自分自身の幸福のために行動を開始すると共に、同窓生同士、お互いに学び合い、協力しあっていくことが出来ればこの上ない喜びであります。皆様方のご活躍を祈念致します。

## 第22回定期総会報告

第22回総会が去る4月26日、母校大学会館において開催された。

本会の発展と会の活性化に努力することを基調として、会が締め括られた。



総会は、まず永見会長の挨拶で始まり、顧問前川先生より、16,000人の会員を持つ組織は非常に有力な団体であるので、ぜひ活用して頂きたい、そのためにもますます会が発展活性化することを希望している、などの有意義なご助言を頂いた。

議事は議長に坂本氏（昭和44年機械卒）を選出し、昭和61年度活動報告、会計報告など議題の順に滞りなく進められ閉会した。

引き続き、雨の中出席頂いた母校の各学科の先生方および各部局の職員の方々等、多くの教職員参加の中で、同窓会員との懇親会が開催された。懇親会では、鶴学長より同窓会への心あたたまるお言葉を頂き、和気藹々、盛会のうちに終了した。以下に総会の要約を述べる。

伊藤幹事長は、昭和60年度、中西幹事長のもとに行われた同窓会20周年記念事業（2ヶ年計画）をすべて終了したことを報告し、今後新たな気持で同窓会活動を展開させる必要があることを述べた。

役員改選において、永見会長が再任され、今後の活力ある同窓会への努力の決意が述べられた。また、幹事長には菅氏が選出され、支部の充実、特に足もとである広島県をかため、即戦力となる支部組織を充実させたいとの活動方針を提案され、了承された。



## 昭和61年度活動内容の主なもの

- 4月 総会開催
- 5月 体育祭への援助 (30万円)  
文化局第18回芸術展への援助
- 6月 菱明技研株式会社の職場支部結成  
文化局第21回定期演奏会援助
- 7月 ボート部、ヨット部、卓球部の全国大会出場への援助  
落語研究会「かれっじ寄席」への援助
- 8月 会報発行  
長崎県支部総会に出席
- 9月 同窓会奨学生選考 (10名、36万円支給)
- 10月 廿日市町役場支部結成  
剣道部の全国大会出場への援助
- 11月 学園創立30周年記念事業に対し1,000万円を寄付  
大学祭への援助 (40万円)

- 中国電気工事株式会社の職場支部結成
- 12月 軽音楽部定期演奏会への援助  
アーチェリー部、射撃愛好会の国民体育大会出場への援助
- 1月 安佐南区在住卒業生の名刺交換会開催  
馬術愛好会の国民体育大会出場への援助
- 2月 茶道部の20周年記念お茶会への援助
- 3月 会員名簿発行  
会誌発行  
卒業生に記念品として、名簿、記念写真を贈呈

## 昭和62年度活動方針

1. 同窓会組織の見直し及び活性化のための検討
2. 同窓会事務内規の検討
3. 学園への寄付活動  
(62年9月末日まで)



（昭和62年）書 辯 協 会 要 平 18 第 冊



## 幹事長挨拶

同窓会幹事長 菅 雄三



同窓会創立20周年および学園創立30周年の記念事業の後を受け、同窓会も新しい時代を迎えています。これまで同窓会を築き、運営されてこられた先達に対しここに敬意を表わず次第です。こうした中で、幹事長を拝命致し身の引締る思いで同窓会の運営に携わらせていただいています。

本年度の主な活動方針は、以下のとおりです。

- ① 同窓会組織の見直しおよび活性化の検討
  - ・同窓会組織の明確化
  - ・同窓会組織づくり（支部結成の促進）
- ② 事務内規の検討
  - ・会計細則等の見直し
- ③ 同窓会刊行物の検討

・会報、会誌、名簿等の見直し  
これら各項目について現在の同窓会の人力および財政状態を考慮しながら活動してゆきたいと考えています。特に、同窓会の基盤となる組織づくりおよび情報の基盤となる名簿の作成については、既に実施段階に入っています。さらに大学と同窓会の協力体制についてこれまで以上の強化と具現化も計画されています。

母校と同窓会を支える組織として、「同窓会のInfra-structure」は会員皆様お一人お一人が構築されていけるものであると思います。長期にわたって揺るぎない同窓会の基盤を着実に建設してまいりたいと考えています。

会員皆様方の絶大なご協力、ご支援のもとに我々役員・幹事一同、同窓会活動を推進してゆく所存です。よろしくお願い致します。

## 昭和62年度同窓会役員名簿

会長 永見憲吾（子）  
副会長 荒谷寿一（土）、道田憲治（経）  
幹事長 菅雄三（土）  
副幹事長 伊藤秀敏（土）、西野達夫（経）  
会計 小西正明（機）、中西助次（基）  
玉野和保（子）  
会計監査 川畑敬志（子）、橋田好弘  
書記 吉田和信（機）、大林真（建）  
幹事（子）村田弘志、重広孝則、砂田謙二  
（電）沖根光夫、湯尻照、猪上憲治  
原田義治  
（学）中田時生  
（機）片山剛之丞、松江孝博、山下一彦  
水落健治、寺地越二

（基）森滝美治郎、古川博仁  
（土）村中昭典  
（建）菅原辰幸、手越義昭、植村邦彦  
（電算）近宗貴、広重隆  
（経）西田弘展、松広斎  
（総）福永保  
評議員 栗栖律郎、八幡文伍、上岡洋史、山口和夫  
松原昌弘、森本房義、猪原憲昭、砂原照雄  
杉島民雄、大藤英寿、坂本幸雄、玉田康荘  
藤川正博、松倉安、三浦勝行、森聖輝  
青木能典、中塚晴夫、金堀一郎、森京正  
森田洋生、岡本世紀、峠孝司、大田喜徳  
吉清有三

昭和61年度会計報告（昭和61年4月1日  
昭和62年3月31日）

&lt;収支決算&gt;

項目	収入	支出	残高
昭和61年度総収入	17,854,825		
昭和61年度総支出		17,505,626	
合計	17,854,825	17,505,626	349,199

&lt;資産の部&gt;

(単位:円)

項目	収入	支出	残高
昭和60年度繰越金	78,554,993		
預金利息	4,320,519		
学園30周年記念寄付		10,000,000	
合計	82,875,512	10,000,000	72,875,512

## &lt;収入の部&gt;

項目	決算額
昭和60年度繰越金	4,183,688
入会金 824×2,000	1,648,000
終身会費 751×13,000	9,763,000
総会会費 112×3,000	336,000
広告料	350,000
雑収入(寄付金等)	1,441,380
預金利息	132,757
合計	17,854,825

## &lt;支出の部&gt;

(単位:円)

項目	予算	決算	差異
名簿発行費	5,700,000	5,700,000	0
会誌発行費	4,150,000	4,142,480	7,520
会報発行費	1,120,000	1,108,520	11,480
総会開催費	1,150,000	1,134,585	15,415
支部費	300,000	289,010	10,990
在学生援助費	1,300,000	1,278,000	22,000
卒業記念品代	450,000	425,790	24,210
通信費	220,000	204,535	15,465
消耗品費	400,000	381,328	18,672
交通費	90,000	87,810	2,190
会議費	170,000	165,868	4,132
役員手当	90,000	88,500	1,500
調査費	30,000	0	30,000
備品費	30,000	0	30,000
委託費	1,380,000	1,369,200	10,800
奨学基金繰込金	1,000,000	1,000,000	0
鶴奨学会寄付金	100,000	100,000	0
予備費	65,688	30,000	35,688
合計	17,745,688	17,505,626	240,062

補正予算による予算額変更後の金額

## 昭和61年度同窓会奨学会計報告

項目	収入	支出	残高
基金	6,538,587		
繰込金	1,000,000		
利息	530,452		
奨学金		360,000	
寄付金	10,000		
手数料		80	
合計	8,079,039	360,080	7,718,959

以上の会計報告の正確なることを承認します。

昭和62年4月15日

監査 橋田 好弘

監査 西野 達夫

## 昭和62年度予算

## (収入の部)

項 目	予 算 額	備 考
昭和61年度繰越金	349,199	
入 会 金	1,960,000	2,000円×980人
終 身 会 費	10,954,450	13,000円×887人 ×0.95
総 会 会 費	200,000	2,000円×100人
預 金 利 息	150,000	
広 告 料	350,000	
雑収入(寄付金等)	500,000	
合 計	14,463,649	

## (支出の部)

項 目	予 算 額	備 考
会 誌 発 行 費	4,000,000	
印 刷 費	(1,500,000)	15,000×100
通 信 費	(2,430,000)	13,500×180
交 通 費	(70,000)	
会 報 発 行 費	1,200,000	
印 刷 費	(229,500)	13,500×17
通 信 費	(945,000)	13,500×70
交 通 費	(25,500)	
名 簿 発 行 費	1,700,000	
総 会 開 催 費	550,000	
懇 親 会 費	(400,000)	
交 通 費	(100,000)	
諸 費	(50,000)	
支 部 費	500,000	
在 学 生 援 助 費	1,300,000	
大 学 祭 援 助 費	(400,000)	
体 育 祭 援 助 費	(300,000)	
ク ラ ブ 援 助 費	(600,000)	
卒 業 記 念 品 費	1,600,000	

項 目	予 算 額	備 考
通 信 費	300,000	
消 耗 品 費	500,000	
交 通 費	100,000	
会 議 費	200,000	
役 員 手 当	120,000	
会 計	(15,000)	3×5,000
会 報 発 行 責 任 者	(2,000)	
会 誌 発 行 責 任 者	(5,000)	
名 簿 発 行 責 任 者	(5,000)	
支 部 担 当 責 任 者	(5,000)	
そ の 他 (日 当)	(88,000)	
調 査 費	30,000	
備 品 費	110,000	
委 託 費	1,500,000	
奨 学 基 金 繰 込 金	322,000	
鶴 奨 学 会 寄 付 金	100,000	
予 備 費	331,649	
合 計	14,463,649	

## 諸 報

## 学位授与

## ○広島工業大学

・土木工学科 菅 雄 三

学位の種類 工学博士

授与年月日 昭和61年7月7日

論文名 「ランドサットMSSデータに基づく  
環境主題図作成に関する研究」

授与大学 日本大学

・建築学科 菅原 辰幸

学位の種類 工学博士

取得年月日 昭和62年2月28日

論文名 「住居系用途地域指定の技術基準と住  
民の周辺建物への評価に関する研究」

授与大学 九州大学

・機械工学科 吉田 和信

学位の種類 工学博士

取得年月日 昭和62年3月12日

論文名 「制限条件を有する制御系のゲイン空  
間における設計」

授与大学 広島大学

## 大学だより



## 〔工 学 部〕 (男女共学)

電子工学科…… 140名    電気工学科…… 140名    機械工学科…… 240名  
土木工学科…… 140名    建築学科…… 140名    経営工学科…… 140名

# 広島工業大学

## 〔63年度入試要項〕

## ☆推薦入学制 (非指定校) 実施

入 試 概 要	推 薦 試 験	一 般 試 験
試 験 日	11月29日(日)	2月7日(日)
出 願 期 間	11月10日(火)～ 11月20日(金)	1月16日(土)～ 1月29日(金)
合 格 発 表	12月10日(木)	2月17日(水)
試 験 地	本学(広島)・ 岡山・松山・ 福岡	本学(広島)・ 大阪・岡山・ 松山・福岡
試 験 科 目	数 学	数学 I、代数・幾何、基礎解析
	理 科	物理 化学 } どちらかを選択 (いずれも理科 I の当該 分野を含む)
	外国語	英語 I、英語 II

## 〔奨学制度〕

名 称	支 給 額	返 還 義 務
特 待 生	授業料・施設設備資金全額免除	無
関 鶴 奨 学 会	(年額)54,000円	無
広島工業大学同窓会	(年額)36,000円	無
日本育英会	第一種 自 宅(月額)35,000円	有
	第二種 自 宅外(月額)45,000円	(第二種は) 有利子

その他、地方公共団体・民間育英団体の奨学制度がある。

## 〔卒業後の取得資格〕

- 教員免許  
卒業生は、在学习中に教職課程を修得することにより、高等学校教諭2級普通免許状(工業)の交付を受けることができる。
- 電気主任技術者  
電気工学科の卒業生は、在学习中に指定された授業科目を修得し、卒業後所定の実務経験を経ると、電気主任技術者免許状が取得できる。
- 電気工事士  
電気工学科の卒業生は、在学习中に指定された授業科目を修得することにより、電気工事士試験のうち学科試験が免除される。
- 測量士補・測量士  
土木工学科の卒業生は、所定の単位を修得すれば卒業と同時に測量士補の無試験登録、卒業後1年の測量実務を経ると、測量士の無試験登録ができる。
- 建築士  
建築学科の卒業生は、卒業と同時に二級建築士試験及び木造建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。  
土木工学科の卒業生は、卒業後1年以上建築に関する実務に従事すると二級建築士試験及び木造建築士試験を、また卒業後2年以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
- その他  
卒業生は、上記以外の国家資格試験において、受験資格が与えられるもの、あるいは、試験科目の一部が免除されるものがある。

## 〔お問い合わせ先〕

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725

TEL (0829) 21-3121代

広島工業大学 入試係

## 学園だより

### 機械工学科にメカトロニクス系を含む実験実習場の建設計画

昭和61年度新入学生から、新カリキュラムが実施されたなかで、機械工学科では近年の科学技術の急速な進展、および膨大な拡張により、その内容も質的に著しく変化している。そうした社会のニーズへの対応と専門基礎科目の充実、徹底のため「総合機械コース」と「電子機械コース」の2つのコースが設置された。

「総合機械コース」は、機械のどの分野にも適合し進出

していきけるように、共通の基礎科目をさらに強化する。

「電子機械コース」は、電子・電気関係分野にも適合し進出していけるように、メカトロニクス系の科目を強化する(広島工大100号より)。

そこで、メカトロニクス系を含む実験実習場の建設を昭和62・63年度の継続事業として進めている。

建設計画の概要は次のとおりである。

鉄筋鉄骨コンクリート、地下一階・地上7階、延面積5,661㎡(1,712坪)。

実験・実習室として水力学、熱工学、溶接、工作センター、機械計測、電子機械、電子計測、油圧制御等、その他ゼミナール室、研究室が完備される。

場所は、現在6号館・7号館を取り壊し跡地に建設予定。

着工は62年9月、完成は63年7月の予定である。

## 文化局だより

文化局も今年で、もう25期にもなります。今期の文化局主催行事は、芸術展と定期演奏会がありました。

今年で第19回を迎えた芸術展は6月13日～14日にかけて行われました。会場は、県民文化センターで、美術部、書道部、写真部が展示発表を行い、13日の土曜日には日立ファミリーホールで、映画研究部、放送部、A. I. Cが作成した作品を上映しました。

このように成功のうちに終了した芸術展でしたが、中でもA. I. Cは今年、活動実績を認められ部へ昇格するこ

とになりました。

定期演奏会ですが、こちらの方は例年と同じく7月1日に行われました。会場は郵便貯金会館ホールで、グリーククラブ、マンドリン部、軽音楽部、ロック部、フォーク部の5サークルが参加しました。これによって、音楽サークル員の夢である郵貯に立つというのがかなえられたことと思えます。

これらの二大行事を終えた文化局ですが、もうすでに、第26回工大祭に向けて、着々とプロジェクトを進めています。文化展や、ステージでの企画、当夜祭、各サークルの発表の場であり、また楽しい数日間ですので、皆様、ぜひとも昔を思い出して、同期の人と連れだって御越し下さい。全サークル員とも、心から御待ち申し上げております。

## サークル紹介

	サークル名	学生代表	電 話	サークル名	学生代表	電 話
体	柔 道	稲 富 右 文	(0829)22-3790	ヨ ッ ト	森 本 哲 也	(082)277-2261
	剣 道	吉 本 治 彦	(0829)32-2033	ス キ ー	岩 室 年 彦	(08266)4-2517
	弓 道	中 山 知 之	(0829)23-4488	自 動 車	佐 藤 正 尚	(0829)23-4488
育	合 気 道	松 田 敏 則	(08267)5-0253	重 量 挙	堀 井 正 雄	(0829)21-3417
	少 林 寺	水 野 和 彦	(0829)22-1204	アーチェリー	下 前 和 寛	(082)899-2051
系	空 手	光 安 昭 典	(0829)22-0812	水 泳	土 田 康 生	(082)855-2779
	ボクシング	斉 藤 勲 生	(0829)22-1546	陸 上	金 本 克 己	(0829)22-5848
	正 道 術	大 木 淳	(0829)22-5509	漕 艇	末 松 幸 人	(0829)22-5509



	サークル名	学生代表	電 話	サークル名	学生代表	電 話
体 育 系	スケート	今田 聡	(082)843-5507	サッカー	笹木寿男	(082)894-0378
	射撃	本多 修	(0829)22-4969	バレーボール	山新雅和	(082)877-4695
	馬術	皆川和之	(0829)23-2615	ラグビー	黒田泰三	(0829)21-2991
	モーターサイクル	林 健二郎	(0829)21-1847	バドミントン	大 田 朋 生	(0829)22-1204
	バスケット	神 邑 昌 宏	(0829)22-3273	エスキーツニス	岩 谷 俊 廣	(0829)23-2615
	硬式野球	横田 洋	(0829)22-1204	ゴルフ	長 岡 伸 一 郎	(0829)22-4623
	軟式野球	高木哲治	(0829)39-0534	ユース	松田健二	(082)280-0789
	卓球	初井昭典	(0829)32-7301	山岳	石原広一郎	(0823)87-4885
	ハンドボール	尾崎隆輝	(0829)21-0510	サイクリング	高橋俊輔	(082)272-4589
	硬式庭球	徳野秀樹	(0829)32-5871	ワンダーフォーゲル	横山幸男	(0829)22-4969
軟式庭球	戸田直樹	(0829)34-0831	ピクスキー	三谷知子	(082)231-8734	
文 化 系	科学部	今橋英一	(0829)23-2056	グリーンクラブ	室川幸男	(082)848-3636
	無線部	福田剛三	(0829)22-1447	マンドリンクラブ	光成宏美	(0829)32-2033
	基礎理論工学研究会	川崎健二	(0823)25-3684	軽音楽部	畠中幸近	(0829)21-4204
	鉄道研究部	長森慎哉	(0829)31-2349	囲碁将棋部	関原考治	(0829)32-2033
	美術部	沖浦浩司	(0829)32-2033	E. S. S.	廣中力勇	(0829)31-2709
	書道部	竹本 考	(0829)22-1204	茶道部	脇 俊 成	(0823)71-1597
	写真部	宮崎康明	(082)291-8620	落語研究会	平田勝史	(08486)3-4878
	映画研究部	内田 圭	(0829)23-0600	吟道同好会	輪田和章	(0829)22-0408
	放送部	三浦和宣	(0829)22-0740	天文研究会	宮本裕司	(082)261-6924
	A. I. C.	稲田 正	(0829)22-5509	アイディア研究会	菅内 康	(082)281-3592
フォーク部	平田匠吾	(0829)22-0536	赤十字奉仕団	村上達也	(0829)22-0057	
ロック部	岡崎成司	(0829)22-4536				

## 体育会だより

### 体育会行事、とことん天候に祟る

第19回大山スキーパーティーが、3月1日～6日の期間で予定しておりましたが、残念ながら中止となりました。今回の大山はとても悩まされたことが多かった様に思えました。特に、天候のことには・・・中止決定を下す直前まで雪が降らなかった為、第19回大山スキーは中止とさせて頂きました。新聞、テレビ情報などを見ただけでは、少し不安でありましたので、体育教員1名、本部長1名、基礎スキー愛好会1名の計3名で大山へ行き直接自分たちの目で確認して中止としました。体育会としても、大変大きな損害であったと思われる行事の一つでありましたが、第20回大山スキーは今回の企画に加えて、新企画を加えて一回り大きな行事として登場すると思われます。

テーマ「26th体育祭—これが、俺達の「PRELUDE（前奏曲）」！」のもとで5月22日～25日の期間で開催されました。今回またも雨に祟られ、あわや中止かと思われた開会式、半日中止となった競技、参加人数的な事と、いろいろとありましたが、それにも拘らず盛り上がりは例年以上のものがあった様に思われます。中でも今年より始めたアームレスリングは好評の内に終わりました。そしてサッカーは雨天にも拘らず数々の闘志あふれる試合を見せ、大魂ここにありと見ている者を領かすものもありましたが、毎年減少しつつある参加者という問題は今後も大きな課題となりそうです。

これらに続いて、前、後期ソフトボール大会は体育祭などに劣らぬくらいの活発な行事でもあります。ソフトボール上位3チームは広島地区大学体育連合の大会出場権を得ることが出来、優勝すれば名実ともに広島地区のNO・1に輝く事となります。近年工大チームは上位を占めている様です。

今期、体育会年間行事活動計画を下記に紹介させて頂きます。

#### ○第12回前記ソフトボール大会

6月6・7・13・14日

#### ○水泳大会

6月27日

#### ○クラブ対抗ソフトボール大会

7月5日

#### ○フレッシュマンセミナー

7月11～13日

#### ○第9回少年少女球技大会

11月1・3日

#### ○第8回少年少女剣道大会

11月8日

#### ○第12回後期ソフトボール大会

11月21・22・28・29日

この他にも時期は未定ではありますが以下に紹介させて頂きます。

#### ○学内レガッタ

#### ○第8回武道班合同演武祭

#### ○昭和62年度スポーツ講演会

以上の行事を企画しておりますが、体育会はサークルと一丸となって毎日毎日一般学生にスポーツの普及と頑張っております。これも一旦に先輩方の築きあげられた基盤が

あってこそ出来る技であります。今後も一層の飛躍に向けて頑張っていく所存ですので先輩方のより一層の御指導御鞭撻の程宜しく御願い申し上げます。

## 同窓会本部だより

### 安佐北区内の

### 「同窓生ふれあいの集い」!!開催

(世話人代表 小西正明)

広島工業大学も22年目を迎え、卒業生数も17,000名と2万人台に到達しようとしています。

このうち約1/3の6,000余名の同窓生が広島地域で活躍されています。そこで母校のある地元広島地域の同窓生の連携をとりあうことがまず最も大切なことではいうことで区ごとの小規模な集いをと、安佐北区内での同窓生の集いをこのたび開催させていただきましたところ、ご多忙な時にもかかわらず多数の出席をいただき、盛会なうちに、安佐北区ではじめての同窓生の集いを終えることができました。母校より7名の恩師の諸先生、教職員の皆さま方にもご臨席いただき、数年ぶり、十数年ぶりの再会を喜び、VTRによる母校の紹介をふたり、新聞「広島工大」という新入生歓迎号などで母校の躍進著しい発展ぶりを見聞しながら、同窓生の皆さんや恩師の諸先生がたと膝を交えて、なつかしく、お互いの近況を語り合い、仕事のことなど情報の交換や、名刺交換などを行い、楽しく、なごやかなうちに、有意義なふれあいの集いをもつことができました。このたびの第一回目の集いが、同窓会と母校のより一層の発展と同窓生相互の活性化への起爆剤として何かのきっかけを生み、新たな歩みへとよりよい方向へと生かされますようお願いしつつ、集いのご報告とします。

末筆になりましたが、ここにぶじ集いを終えさせていただいたことを感謝し、学園よりマイクロバスなどの配慮や母校広島工大より恩師の諸先生、教職員の皆様のご臨席ならびにご厚志、ご厚情など多くのご協力ご支援いただきました関係各位の皆様がたに心よりお礼申し上げます。



## おねがい

- ①個人データ登録のハガキが同封されていた方は、確認のうえ、必ず返送してください。
- ②住所・職場を変わられたり、改姓などされた場合は、ハガキ・電話等で事務局までお知らせください。

### 広島工業大学同窓会事務局

〒731-51 広島市佐伯区五日市町3内525  
TEL.(0829) 2-1-3 1 2 1(宅内)570